

「わたしの星」

作・柴幸男と「わたしの星」キャスト&スタッフ

本作は高校生が出演し、上演することを想定して書かれています。

複数人での会話は、書かれている台詞を基本筋として、俳優がある程度自由に登場人物ごとの反応、返答を行うことを想定しています。

また本作に登場する「文化祭の発表」は演奏・ダンス・ラップ・歌を自由に組み合わせたものを想定しています。が、上演の際に必ず楽器演奏をしなければならないものではありません。

【登場人物】

【3年】

アカネ
生徒会長で演劇部の女子
メグ
農家の女子
シャイン
学校唯一の男子
サイトウ
新しい星の大学に行きたい女子

【2年】

スピカ
新しい星に転校する女子
ナナホ
新しい星に転校する女子の幼なじみ

【1年】

ココ
宿題をやった女子
カノン
密かに男子が好きな女子
マナ
新しい星に行けなかった女子

【*】

ヒカリ
新しい星で生まれた女子

【0】

夏。

蝉の音が聞こえる。

外には緑と青空。大きな雲。

ここは、小さな町の高校にある音楽室。

出入口は上手、下手にひとつずつ。

この町のはずれには空港があり、学校の窓からもそれが見える。
緑の田畑の向こうにそびえ立つのはロケット。

この町にあるのはシャトルロケットの空港。

ロケットは人々を移住先の新しい星へと運ぶ。

ロケットが発射されると、轟音が鳴り、古い校舎は揺れる。

そして、熱風が町へと届く。

音楽室には誰もいない。

机とイスは数も位置もまばら。

ピアノ、ラジカセ、スピーカー、キーボード、

ギター、ベース、アンプ、メトロノーム、などがある。

【1】

制服姿の女子がひとり、ドアを開けて教室に入ってくる。

ナナホ ……

ナナホ、誰もいない教室を見る。

ナナホ ……

ナナホ、カバンを机の上に置き、カセットテープを取り出す。
音楽室のラジカセに近づく。

この星の文明は少し古くて、懐かしい。
カセットテープが再生されたのだろうか、ノイズが聞こえる。

明かりが変化し、女子たちがふざけあう声が聞こえてくる。

【2】

アカネ、メグ、サイトウ、シャイン、マナ、カノン、ココ、登場。
軽やかにやってくる。

彼らはそれぞれ楽器の準備をしたりしてラジカセの前に立つ。
騒々しい会話を繰り返しながら、録音の準備をしているようだ。

アカネ じゃあ、合図したらお願いね、

一同 (元氣よく返事)

アカネ じゃあ、いくよ、いっせーのーせ、

メグ これちゃんと録れてるの？ (ラジカセに) あー！

アカネ ちよつと、もう録音してるから、

シャイン あ、煙！ 煙！

マナ ほんとだ！ ロケット！

一同 やばい！ やばい！

アカネ ちよつと早くしないとロケット飛ぶから、いくよ、せーの、

メグ いえーい、

マナ いえーい、

ココ いえーい、

アカネ いや、いえーいじゃないから！

シャイン わっしょーい！

一同 はあ？

サイトウ ねえ、さっさとやろうよ、

メグ こえ、

アカネ ほら早くしよ、せーの、で、お願いね、はい、じゃあ、せーの、

【3】

スピカ すいませーん！ 遅くなりましたー

スピカ、カバンを持って走って入ってくる。

アカネ スピカ！

一同、スピカの名前を呼ぶ。

メグ おせーよ！

スピカ すいませーん！

アカネ いま、録音するから、もうこっち来て！

スピカ はい、

メグ もうお前なしでやるとこだったからね、

スピカ えー、ひどい、

メグ ひどくねーよ、

スピカ ナナホ、おはよ、

ナナホ スピカ、

スピカ ごめん、はい、お願いします、

アカネ はい、じゃあ、行くよ！

ピアノの時報に合わせて、音楽が流れる。

彼女たちの演奏を録音したものだろうか。

アカネ、メグ、サイトウ、シャイン、マナ、カノン、ココ、退場。

録音された音だけが残る。

ナナホ ……

ナナホ、音にあわせて踊る。

ナナホ ……

【4】

カバンを持ったスピカだけは、そのまま残っている。
スピカ、ナナホが踊るのを見ている。

スピカ おはよう、

ナナホ (驚いて) おはよ、え、いつからいたの、(踊るのをやめて)

スピカ いいじゃん、どうしてやめちゃうの、

ナナホ だって下手だから、

スピカ 下手だから練習してるんですよ、

ナナホ そうだけど、

スピカ、カバンを置いて踊りだす。

スピカ 練習、練習、ほら、

ナナホ、一緒に踊りだす。

二人、踊りながら会話をする。

ナナホ スピカ、

スピカ なに、

ナナホ アカネ先輩、優しいからあんま言わないけど、ちゃんとしなよ

スピカ 何が、

ナナホ 練習、文化祭まであと2週間ないんだし

スピカ やってるよ、

ナナホ 遅刻ばっかじゃん、こないだなんか無断で休んだし、

スピカ だから早く来たじゃん、^s

ナナホ 今日だけでしょ、

スピカ だって、ナナホと一緒に学校に行ってくれないんだもん、

ナナホ え、

スピカ 前は毎日、一緒に行ってたのに、

「わたしの星」

ナナホ ……
スピカ え、それ、ちがくない？
ナナホ え、
スピカ そのフリ、こうでしょ、
ナナホ え、なになに、
スピカ なにそれ、ぶふ、
ナナホ 笑わないで、
スピカ ごめんごめん、ぶぶぶ、
ナナホ 笑わないでって、

スピカとナナホ、踊り続ける。

スピカ あたしね、
ナナホ うん、
スピカ 転校することになった、

**ナナホ、止まる。
スピカ、踊り続ける。**

ナナホ ……は？
スピカ 転校、
ナナホ え、え、なにそれ！
スピカ だから二期にはもういないんだ、
ナナホ え、それ、ほんとに！
スピカ 本当、文化祭の発表も出られなくなっちゃった、ごめんね、
ナナホ え、ちよ、ちよっと待って、転校って、引越すってこと、
スピカ そう、
ナナホ え、いつ！
スピカ 明日、
ナナホ えええ！ 明日ってそんな、急すぎるよ！
スピカ だよね、
ナナホ だよねって！ え、どこ、

スピカ どこって、決まってるでしょ、
ナナホ ……火星？

スピカ そ、火星、

ナナホ でも、だって、ロケットは？ 予約は？

スピカ とったよ、チケット見る？

ナナホ じゃあ、文化祭は？ 発表は？

スピカ だから、出られないんだってば、

ナナホ えええ、

スピカ いや、ほんと、すまぬ、

ナナホ すまぬじゃなくて！

スピカ いや、まじで、メンゴ

ナナホ メンゴじゃなくて！ みんな知ってるの？

スピカ みんなって、

ナナホ だから、先輩とか、学校みんな、

スピカ 知らないよ、

ナナホ え、

スピカ だから、ナナホ、言っというて、

ナナホ え、

スピカ じゃあ、あたし行かなきゃ、

ナナホ ちよっと待って！ どこ行くの！

スピカ 職員室、

ナナホ ねえ、待って、待って！

ナナホ、ラジカセを止める。

ナナホ 待って！

スピカ、立ち止まる。

ナナホ なんて？

スピカ え、

ナナホ なんて、言ってくれなかったの、

スピカ 今、言ったじゃん、
ナナホ もっと早く言ってよ！
スピカ 早くっていつ言えばよかったの、
ナナホ いつだってよかったよ、
スピカ ……いつでも言えるって思ってたよ、いつか言おうって思ってた、
今、言わなきゃって、でも、いつまでたっても言えなかったよ、
ナナホ え、
スピカ じゃあ、先輩やみんなに言っというてね、
ナナホ ちよつと、
スピカ バイバイ
ナナホ ちよつと、待って、

スピカ、出て行く。

【5】

ナナホ、呆然。

ナナホ ……そんな、

ナナホ、立ち尽くす。

【6】

ココ、入ってくる。

ココ おはようございます！
ナナホ うお！
ココ おはようございます！
ナナホ え、あ、おはよ

ココ、空いている机に飛びつく。

ココ 先輩、ここ（机）、つかってもいいですか、いいですよね、使います！
ナナホ え、あ、いや、
ココ （カバンから取り出したものに必死に書き込みをしている）
ナナホ え、聞いてた？
ココ え、なにがすすか、
ナナホ え、さっきの聞こえてた？
ココ （急に顔を上げて）え、なにがすすか、え、なにがすすか？
ナナホ え、あ、なんでもない、なんでもない、
ココ そつすか（書き込みに戻る）
ナナホ え、

廊下からアカネとメグの声が聞こえてくる。

ナナホ （声に気がついて）あ、

【7】

アカネとメグ、話しながらやってくる。

メグ 絶対、暗いのがいいって、
アカネ だから無理だって、
ナナホ おはようございます、あ、あの、
アカネ おはよう、
メグ おはよ、えー、絶対、真っ暗にした方がいいって、ねえ、ナナホもそう
思うでしょ、
ナナホ え、
アカネ 文化祭の発表、
メグ 本番のときの体育館、
ナナホ ああ、
メグ 絶対、真っ暗にしたいよね？
ナナホ え？

「わたしの星」

メグ 真っ暗からの照明どーん、

アカネ だから、そんな照明うちの学校にないから

メグ だって、明るい中でやるの？

アカネ そうだよ、

メグ 盛り上がんねーよ、だって、宇宙の話だよ、

アカネ みんな、熱中症になるよ、

メグ え、ココも真っ暗にしたいよね、

ココ そっすね、

アカネ 熱中症になっちゃうよね、

ココ そっすね

メグ 窓開けたらいいよね、

ココ そっすね、

アカネ そしたら暗幕、風でピラピラしちゃうよね、

ココ そっすね、

アカネ・メグ どっちだよ！

ココ そっすね！

メグ え、なにやってんの、

ココ え、なんにもやってないっす、

メグ やってんじゃない、

ココ わ、見ないで、見ないで！

ココ、逃げる。アカネとメグ、追いかけて捕獲。

アカネ 夏休みの宿題だ！

ココ あ、ちよつと見ないで！

メグ お前、夏休みの宿題まだ終わってないのかよ！

ココ だって！ まだ夏休みですから！

メグ でも夏休みは今日で終わりだぜ！

ココ まだ今日は終わりじゃないですから、

アカネ あのね、文化祭の練習で宿題やってないみたいになっただらうちらもま

ずいんだからね、

ココ すいません、

アカネ 夏休み、何やってたの？

ココ 遊んでました、

メグ 素直だな、

ココ だって高一の夏は一度きりじゃないすか！

メグ ずっと夏じゃん、一年中、夏じゃん、

ココ そうなんすけどー、

[8]

マナ、入ってくる。

マナ やばいです、やばいです、先輩、やばいです、やばい、先輩やばいす、やばいです、

アカネ あ、マナ、おはよ、

マナ やばい、やばいです、先輩、やばいです、

アカネ え、どうしたの、

メグ なになに、

マナ 聞いてください、聞いて、まじでやばいっす、これは、やばい、

メグ だから、なんだよ、

マナ ちよつと、ココも聞いて、ナナホ先輩も聞いてください、

ナナホ え、

ココ え、なんの話、なんの話、

アカネ え、どうしたの、

マナ ちよつとカノン、カノン遅い、

[9]

カノン、入ってくる。

カノン おはようございます、

アカネ あ、おはよう、

マナ カノン、こっち、こっち、

「わたしの星」

カノン マナ、騒ぎ過ぎ、
メグ え、なになに、なんかあったの、
マナ やばいです、
メグ だから！
ココ なんの話！
メグ お前は宿題やれよ、
ココ え、
カノン え、まだ終わってないの、
マナ ばかじゃないの、
ココ うるさいな、
メグ で、なに、
マナ あの、シャイン先輩が、
メグ なんだ、シャインか、
マナ ちがうんです！ あの、シャイン先輩が……
アカネ うん
マナ 歩いてました
アカネ・メグ・ココ ……は？
アカネ こいつがやばい、
メグ そりゃシャインも歩くでしょ、
マナ ちがいますちがいます、間違えました、
メグ 間違えた？
マナ シャイン先輩が、女の子と、歩いてたんです！
アカネ・メグ・ココ ええええええええ！
メグ え、まじで、
マナ まじです、ね？
カノン はい、
マナ 体育館裏、体育館裏、
アカネ・メグ・ココ うげええええええ！
マナ しかも、その女の子が、めっちゃ、かわいい！
アカネ ええ！
マナ・メグ・アカネ・ココ やば！ えるー！
メグ え、かわいいって、どんくらい、

マナ ほんとかわいい、美少女でした！
メグ え、まじで！
カノン いや、そうでもなかったです
マナ え、カノン、何言ってるの！ めっちゃかわいかったです
カノン 遠かったから可愛く見えただけでしょ、
マナ そんなことなかった、かわいかった、
カノン ブサイクでした、
メグ え、どっち！
マナ ちようかわいかったです、
カノン ブスです、
メグ え、なに、その、証言の不安定さ、
アカネ え、でも、シャインが女の子と歩いてたのはマジなんだ、
マナ まじですまじです、ちよっと、みんなで再現しましょう、
メグ なにをだよ、
マナ メグ先輩、体育館やってくださいよ、
メグ なんてだよ、

騒ぎの中、ナナホ、スピカが行った方向へ行こうとしている。

アカネ あれ、ナナホ、どうしたの？
ナナホ あ、いや、ちよっと、
アカネ え、
ナナホ いえ、すぐに戻ります！

ナナホ、出て行く。

【10】

マナ ……え、ナナホ先輩、どうしたんですか、
アカネ なんだろね、
ココ さっきからずっと変なんですよ、
メグ もしかして、

「わたしの星」

マナ え、
メグ ナナホとシャインって、できてたりして……
メグ・マナ・ココ いやー！
カノン いやいやいや、そんなわけないじゃないですか、
マナ なんて、
カノン だって、そんな感じ全然ないでしょ、
アカネ あたしもそれはないと思う、
マナ だから、そう思わせておいて、実はやってやつですよ、
カノン ないって、
メグ いや、あれは何かを思いつめた顔してた、
アカネ ほんとだよ、
マナ もしかしたら、いまごろ、……（ナナホを演じて）シャイン先輩！
メグ （シャインを演じて）ナナホ！
ココ 渡さないわ！
メグ え、だれ、こいつ、だれ、
ココ 謎の美少女、
メグ ああ、
カノン いやいや、そんなのいいですって、
マナ なんか、さっきから、カノンおかしくない？
カノン え、なにが、
メグ たしかに
マナ カノン、変だよ、
カノン え、どこが、別に普通だし、
マナ もしかして、逆に、カノンがシャイン先輩と（できてたり）……
カノン ちよっと！
マナ （カノンの後ろに行つて）シャイン先輩！
メグ （シャインを演じて）カノン！
ココ 渡さないわ！
メグ だから、お前、だれだよ！
ココ 謎の美少女っす！
メグ よし、宿題やってる、
ココ はい！

アカネ え、でもさ、その美少女って誰？
マナ え、
メグ そうだよ、だれ、だれだったの、
マナ いや、わかんないです
アカネ え、
マナ わかんないんです、
メグ わかんないってなに、
カノン 見たことない人でした、
アカネ うそ、
マナ ほんとです、なんか、制服も、ちよっと違って、
メグ え、なにそんなにそれ、
マナ なんか、おしやれなネクタイしてました、
メグ え、じゃあ違う学校ってこと？
カノン いや、わかんないんですけど、
アカネ え、でも、違う学校でどこ、
メグ さあ、
アカネ そんなのいいじゃん、
メグ そっか、
メグ え、じゃあ、ほんと、だれ、
問。
マナ もしかして……
メグ・マナ 幽霊？
ココ・メグ・マナ やべええええ
アカネ え、じゃあ、シャインは、美少女の霊とつきあってるの？
カノン だから美少女じゃないですってば、
マナ たしかに！ 取り憑かれてるっほかったです！
メグ ちよっと、やめてよ、あたし、そういうのマジでだめだから、
アカネ 自分で言い出したんじゃない、
マナ あ、でもそういう話してると、よってくるって言いますよね、

【11】

サイトウ じゃま、
メグ ぎゃー、

いつのまにかサイトウ、メグの後ろに立っていた。
サイトウ、参考書を読みながら机に向かう。

サイトウ うるさい、
メグ なんだよ、びつくりさせんなよ、
サイトウ バカみたいな声出さないでよ、
マナ サイトウ先輩、おはようございます、
ココ・カノン おはようございます、
サイトウ おはよ、
アカネ おはよ、
サイトウ おはよう、

サイトウ、席に着いて、参考書を読む。

マナ サイトウ先輩、聞いてください、
サイトウ は？
カノン やめときなよ、
マナ シヤイン先輩が、やばいんですよ、
サイトウ やばいつてなにが、
マナ 謎の美少女と歩いてたんです、
サイトウ あっそ(参考書に向う)
マナ サイトウ先輩がつめたい、
ココ あ、サイトウ先輩も宿題すか？
サイトウ は？
ココ それ、夏休みの宿題ですよね、
サイトウ そんなの、とっくに終わらせてるし、
ココ あ、ですよね、

サイトウ え、まだ終わってないの？

ココ いえ、終わってますよ、
メグ なにウソついてんだよ、
アカネ 全然やってないんだって、
サイトウ は？ ちゃんとしなよ、
ココ あ、すいません、はい、
サイトウ てか、まだはじまんないの、
アカネ え、

サイトウ もう時間でしょ、練習しないんなら、帰っていい？
アカネ あ、ううん、今、やるうとしてたところ、さ、やるう練習やるう、
メグ ギリギリに来たくせにえらそーに、
サイトウ どうせ無駄話してるだけだから時間ピッタリに来てるの、
メグ はいはい、ムダですいませんでした、ムダムダムダムダ、
アカネ はい、本当に無駄な言い合いは終わりにして、練習はじめよう！
マナ・カノン はいー！
アカネ ココも宿題やめて、
ココ えー！
アカネ ほら、これ、人数分、コピーしてきて、
マナ あ、新しい台本ですか！
アカネ うん、お願い、
ココ 了解しやした、
アカネ じゃあ、みんな、机とか準備して、

ココ、出て行く。

【12】

それぞれ、机を移動させたり、楽器を準備したり。

メグ えー、まだいいじゃん、シヤインもきてないし、
マナ ひゅーい、
サイトウ さっさと動いてよ、

メグ へいへい、

カノン スピカ先輩もいないですか、

アカネ ああ、スピカはどうせ、遅刻でしょ、

マナ スピカ先輩の寝坊まじハンパないですよね、

カノン 寝癖で頭爆発するときあるよね、

メグ あいつ本当、いい加減にしろよなー、主役だぞ、

サイトウ ちゃんと言ったほうがいいんじゃないの、

アカネ ま、言っただけでいいんじゃないの、

サイトウ 言い方が甘いんじゃないの、

アカネ なんかさ、スピカってマイペースでなに言われても気にしないみたい
なところあるし、

メグ じゃあ、ナナホに言う、

マナ え、なんでですか

メグ 幼なじみだから、

マナ え、そうなんですか、

メグ え、知らなかったの？

アカネ たしか幼稚園から一緒って、

マナ へー、なんか、意外かも、

メグ なんで、

マナ いや、そんな、あんまり、幼なじみっぽくなくないですか、高校ではじ
めて会ったみたいな感じ？

メグ なにそれ、

アカネ 前はよく一緒に登校してたりしたよね、

メグ うん、

カノン え、今はちがうんですか？

アカネ 最近は別々に来てるよね、

カノン えー、どうしてですか、

アカネ 知らないけど、

サイトウ ねえ、これ（カバン）スピカのじゃないの？

アカネ え？

スピカの置いたカバンが音楽室に残されていた。

アカネ あれ、そうかな、ナナホの？

メグ こっちにあるのがナナホのでしょ

アカネ あ、ほんとだ、

マナ シヤイン先輩のかな、

カノン シヤイン先輩、リュックだから違うよ、

マナ あ、そっか、

アカネ え、じゃあ、これ、誰の？

問。

マナ 幽霊のだったりしてー、

メグ やめるよ、

サイトウ は？

【13】

ココ、戻ってくる。

ココ やびやびやび、やばい、

アカネ え、コピイは、

ココ いや、そんな場合じゃないんです、

アカネ なんだよ、

マナ え、どうしたの、

ココ 来ました、来ました、

アカネ 来たって、誰が、

ココ シヤイン先輩！

マナ・カノン・アカネ・メグ シヤイン（〇、シヤイン先輩）！

カノン え、ひとり？ ひどい？ ひどい？

ココ わかんない、よく見えなかった、

マナ・メグ きゃー！

ココ もう来ます、すぐ来ます、いま来ます！

「わたしの星」

ヒカリ あ、はい、本当です、

一同 ええええええ！

アカネ え、ちょっと待って、転校って、どこから、

メグ そうじゃん、どこからどこから

シャイン それがさ、すごいの、

メグ シャイン、うるさい、

マナ どこ、どこから、来たんですか、

ヒカリ いや、あの、火星、から、

一同 え、火星！

一同、さらに騒然とする。

サイトウ (立ち上がり、近づく)

マナ え、ほんとに、ほんとに、

メグ 火星から来たの、まじで、

ヒカリ あ、はい、

一同 ええええええええ！

マナ やばいやばいやばい

メグ まじでまじでまじで、

アカネ え、はじめて見た、はじめて見た！

ココ すごいすごいすごい、え、じゃあ、火星人？

ヒカリ あ、まあ、はい、

一同 上げええええええええ、

メグ 上げー上げー、

ココ 火星人だ、火星人だ、

シャイン そーゆー言い方やめなよ、

メグ 宇宙人！ 宇宙人！

シャイン いや、俺らも宇宙人だから、

メグ シャイン、うるさい！

アカネ えっと、あの、お名前は、

ヒカリ あ、ヒカリです、

アカネ・マナ・メグ・ココ (なんか感動) わああー

ココ いい名前、

マナ もっとなんか、チヨモランマ(とか)みたいな名前だと思ってた、

メグ なんだよそれ、

アカネ え、ヒカリ、さん？ ちゃんは、いくつ、

メグ え、何年生？

シャイン 二年だって、

ヒカリ あ、はい、

メグ シャインはなんなんだよ！

ココ じゃあ、先輩だ！

マナ じゃあ、スピカ先輩たちと一緒にだ、

ヒカリ はあ、

ココ あ、気が利かなくてすみません！ どうぞ！ 座ってください！

ココ、イスを用意する。

ヒカリ え、

メグ そうそう、座って！ 座って！

ヒカリ あ、あの、だいじょうぶです、

マナ 時差、時差があるから、

メグ 重力が違うから、

ココ 息は？ 苦しくないですか？

アカネ 遠慮しないで、ほら、

ヒカリ はあ、

ヒカリ、イスに座る。

一同、なぜか感動。

アカネ えーと、じゃあ、自己紹介しよっか

メグ そうしよう！

アカネ アカネです、三年です、

ヒカリ どうも、

メグ 生徒会長、

「わたしの星」

アカネ あ、うん、一応、
ヒカリ ヘー、
アカネ あと、文化祭実行委員長で、学級代表、演劇部の部長、あと図書室長と風紀委員長と挨拶向上委員長、長のつくものはだいたいやってます、
ヒカリ え、
メグ はいはい、じゃあ、次、わたし、メグルなんですけど、メグって呼んでください、三年です、家で米つくってます、
ヒカリ あ、どうも、

いつのまにかサイトウ、前に来ている。

サイトウ サイトウです、
一同 え、
サイトウ え、なに、
メグ いいえ、
サイトウ おんなじ三年、よろしく、
ヒカリ はい、よろしくお願いします、
マナ あの！ 握手してもらってもいいですか！
メグ あ、ずるい！
ヒカリ え？
マナ マナです、一年です（握手）
ヒカリ あ、よろしくお願いします（握手）
マナ やわらかいー！
ココ あたしも！ あたしも握手いいですか！
ヒカリ あ、はい
ココ （E・Tの手で近づく）
ヒカリ え、
一同 おいおいおいおい！
ココ え？
シャイン そういうのいいから、
ココ ココです、ココって呼んでください、一年です！（握手）
ヒカリ あ、はい、

マナ ほら、カノンも、
カノン カノンです、一年です、
ヒカリ どうも、
マナ ほら握手！
カノン あたしはいいいよ、
マナ なに照れてるの、
カノン 照れてない、
シャイン （手を差し出して）テルキです
ヒカリ あ、はい（握手）
メグ おいこら！
カノン 先輩！
マナ なにさわってんですか！
ココ ふざけんなこら！
シャイン え！
メグ ごめんね、ごめんね、拭く？ 拭く？
ヒカリ え、あ、
シャイン いや、だって今の握手する流れだったでしょう、
マナ 流れじゃないでしょう！
ココ なに勝手に流れてんすか！
カノン 信じらんない、
シャイン ええ？
マナ だいたいテルキってなんすか、
ココ そーだそーだ、
シャイン いや、おれ、本名、テルキ、だから、
マナ え、そうなんですか、
マナ 知らなかった、
メグ あたしも知らなかった
カノン 知らなかったんですか、
シャイン テルキの輝く、で、シャインだから、
マナ 平社員の「社員」だと思ってた、
シャイン ちよっと、
メグ え、なにそれ、平社員って、

マナ 先輩、見た目、老けてるから、
シャイン おい、
アカネ シャインの話はもういいよ、
ココ そうだった！

一同、ヒカリのもとに急いで戻る。

アカネ というわけで、シャインとうちとメグとサイトウさんが三年で、ココとマナとカノンが一年生、それで、今はいないけどヒカリちゃんと同じ二年にナナホとスピカっていうのがいて、それで一同です、
ヒカリ え、
シャイン え、スピカはまた遅刻？
メグ 行方不明、
シャイン え、なにそれ、
カノン ナナホ先輩は、なんかさっき出て行きました、
シャイン はあ？
アカネ もう、こんな大事なときにふたりとも、
ヒカリ え、あの、
マナ え、どうしました？
ヒカリ え、あの、みなさん、だけ、なんですか、
アカネ そうですよ、
ヒカリ え、学校、全部で、
サイトウ だから、そうだって、
ヒカリ あ、すいません、
アカネ あ、びっくりしたよね、そうだよ、うん、これが全校生徒、
ヒカリ あ、へー、
アカネ 昔はもったいたらしいんだけど、
シャイン おれらが小学生のときとか、もうちよっといたよね、
マナ ここらへんは、もううちらしかいないんですよね、
アカネ みんな、火星に行っちゃったね、
メグ 移住、移住、
ヒカリ はい、

ココ でもここらへんに人が少ないの空港のせいもありますよね
ヒカリ え、

マナ ロケット！ うるさいんすよー、
メグ そうそう、最悪なの、週一で、すげー音鳴るから、
アカネ あと熱風ね、
メグ ぶーわー

ココ ドライヤーかっていう、
ヒカリ あ、すいません、
アカネ え、なんで、あやまるの、
ヒカリ いや、わたしも、ロケットで来た分際なんで、
アカネ いやいや、それはいいんだけど、
メグ あ、はいはい！ 火星ってどんなん、火星の学校ってどんな感じ？
マナ あ、聞きたい！
ヒカリ え、あ、設備が整っています

一同、謎の感動。

ココ クラスは？ クラスは沢山ありますか？
ヒカリ はい
マナ 男子は？ 男子は沢山いますか？
ヒカリ はい、
メグ・マナ・ココ いいなー、
メグ こっち、こいつしかいないから、
シャイン え！
アカネ ていうか、どうして、こっちに來たんですか？
メグ そうそう、なんで？ わざわざ、
アカネ だってねえ、あと何年だっけ、
メグ 50年、
アカネ そうそう、50年で住めなくなるって、
サイトウ 30年でしょ、
メグ 50年だよ、
ココ 10年前も50年って言ってましたよ、

「わたしの星」

カノン 言ってた言ってた、
マナ なんかよくわかんないよね、
アカネ そんなぐらいで住めなくなるのに、どうして？
ヒカリ あ、それは……、
一同 ？
ヒカリ ちょっと、

微妙に気まずい間。

一同 いや、そうだよね！（ですよね！）
アカネ 色々あるよねー！
メグ そうそう、
アカネ あ、ねえ！ ヒカリちゃんに発表見てもらおうよ！
ヒカリ え、
ココ いいっすね！
メグ えー、
アカネ なんて、
メグ だって全然まだ出来てないじゃん、
アカネ できてるよこまで！ できてるよこまで見てもらおうよ！
ヒカリ え、
アカネ あたしたち文化祭の発表の練習で集まってるんだ、二学期にはいつてわりとすぐに文化祭があつて、
ヒカリ ああ、
メグ 昔は学年ごとに演劇とか合唱とかダンスとかバンドとかやってたんだけど、
アカネ うちら少ないから、もう全員で作ってるんだよね、今、
ヒカリ へー、え、何を、
ココ 全部っす！
ヒカリ え、
マナ 演劇と合唱とダンスとバンド、全部まざったやつです、
ヒカリ え？
アカネ なんかもとまらなくて、もう逆にぜんぶ？ やっちゃおうって、

ヒカリ あ、はい、
アカネ えっと、発表のタイトルは「わたしの星」って言って、宇宙の話なのね、
ヒカリ はあ、
アカネ えっと、うちらもいつか火星に行くし、地球も住めなくなるわけじゃん、で、いつか死ぬわけでしょ、
ヒカリ はい、
アカネ で、その何十億年っていう時間と、わたしたちの高校の3年っていう時間？ もう全部、時間だなんて思って、そのうちらが生まれて死ぬまでと入学して卒業するまで、を重ねた作品なのね、
メグ なに言ってるのかわかんねーよ、
アカネ あ、じゃあ、実際にやってみせるから、ちょっと待ってて、
ヒカリ あ、はい、
アカネ え、どうしようどうしよう、
メグ なんだよ、
アカネ だってスピカじゃないじゃん、
シャイン 誰か代わりにやったら？
ココ あ、じゃあ、あたしやります、
メグ え、できんの、
ココ やりますよ、
カノン でも、ナナホ先輩もいないですよ、
ココ あたしやりますよ
メグ 無理だろ、

【16】

ナナホ、やってくる。

カノン あ、ナナホ先輩！
ナナホ ああ、ごめんなさい、遅くなりました、
アカネ よかったー、よくぞ、帰ってきてくれた、
メグ どこ行ってたの、

メグ うそでしょ、え、マジで、え、明日？ 明日？
ナナホ はい、

メグ なにそれ、え、知ってた？
アカネ 知らないよ！ 明日って、

メグ 急すぎるだろ、
アカネ えええ、じゃあ発表は？

ナナホ でられないって、
一同 いやいやいや！

メグ ちよつと、もつと早く言えよ！
ナナホ すいません！

メグ いや違って、スピカが、
ナナホ いや、でも、なんか言い出しづらくて、

サイトウ え、ちよつと待って、その話、本当？
アカネ え、

サイトウ スピカが言ってるだけかもしれないじゃん
アカネ そうだよ！

メグ え、でも、なんで、そんなウソつくの！
アカネ いや、わかんないけど、

一同、騒然とする。

アカネ もう、うちらが騒いでもしょうがないよ！

シャイン 本人から直接、話、聞こう！
メグ そうだ、そうだ、

アカネ それで、スピカはどこにいるの、
ナナホ 職員室に行くって、

メグ 職員室！

一同、行くうとする。

ナナホ いや、でも私、今、見に行ったんですけど、もういなくて、
アカネ えええ、

メグ じゃあ、どこだよ！

アカネ ちよつと、手分けして探そ！
マナ はい！

アカネ じゃあ、グーパーしてわかれよう、
メグ そうしよう、そうしよう、

アカネ グーパーでわかれましょ、しょ、しょ、
シャイン いや、これわかれましょ！

アカネ じゃあ、もう、みんな適当に探そう！
メグ 適当って、どこ！

アカネ 自分で考えて、（ヒカリに）なんかごめんね、くつろいでて！
ヒカリ あ、いえ、

ヒカリを残して一同、出て行く。
サイトウのみ出て行くふりをして、部屋に残る。

【17】

サイトウ ……、

ヒカリ ……え、

サイトウ 火星の、学校って、どんな感じ、
ヒカリ え、

サイトウ こんなじゃないよね、
ヒカリ え、

サイトウ なんていうか、レベル？ だって、低すぎるでしょ、
ヒカリ え、でも、みなさん、いい人ですよね

サイトウ え、ああ、また、教えて、
ヒカリ え、はあ、

サイトウ、出て行く。

【18】

「わたしの星」

ヒカリ、本当にひとりになる。

ヒカリ ……

ヒカリ、遠くの景色をぼんやり見てから、立ち上がる。
なんとなく、ラジカセに近づく。

ヒカリ ……

【19】

スピカ、現れて、こっそり教室を覗く。
ヒカリは気がついてない。

スピカ ……

スピカ、こそごとと入ってくる。
ヒカリ、気がつく。

ヒカリ あ、
スピカ あ！ どうも、

スピカ、カバンを持って出て行こうとする。

ヒカリ え、あ、え、あ、待って、待ってください、
スピカ え、

ヒカリ え、スピカさんですよね、
スピカ そうだけど、え、だれ、
ヒカリ あ、あのヒカリです、
スピカ ヒカリ？

ヒカリ いや、あの、あたし、転校してきたんです、
スピカ え、転校？

ヒカリ はい、

スピカ 転校って、どこから、

ヒカリ 火星、です、

スピカ ああ、へえ、へええ、そうなんだ、すごいね、

ヒカリ はい、

スピカ 向こうから来るなんて、はじめて聞いた、じゃあ、

スピカ、行こうとする。ヒカリ、追って、

ヒカリ あ、待って、待ってください、

スピカ え、なに、

ヒカリ いや、ちゃんと、言ったほうがいいと思います、

スピカ え、なにを

ヒカリ 火星に行くんですよ、

スピカ うん、

ヒカリ じゃあ、ちゃんと、みなさんに言ったほうがいいと思います。

スピカ いや、大丈夫だから、

スピカ、行こうとする。

ヒカリ、スピカを追って、

ヒカリ でも、スピカさんの口から、ちゃんとお別れした方がいいと思います
スピカ え、もういいから、

以下、スピカとヒカリの追いかっこが続く。

ヒカリ あ、待って、

スピカ うん、だから、もういいって、

ヒカリ え、待ってください、

スピカ ちょっと、ついてこないで、

ヒカリ でも、

ついにスピカ、立ち止まり怒鳴る。

スピカ もう、なんなの！
ヒカリ あたし、死ぬんです、
スピカ ……え、
ヒカリ はい、
スピカ え、今、死ぬって、言った？
ヒカリ 言いました、
スピカ ……ん？
ヒカリ はい、
スピカ え？ ん？ 死ぬ、の？
ヒカリ はい、
スピカ え、いつ、
ヒカリ いつか、
スピカ いやいやいや、そりゃみんないつか死ぬでしょうよ、
ヒカリ いや、そうなんですけど、
スピカ あたしだっていつかは死ぬし、
ヒカリ あ、でも、たぶん、わたしの方が先に死にます、
スピカ え？ なんて、
ヒカリ なんか持病で
スピカ 持病？
ヒカリ いつ発症するかわからないんですけど、全身の筋肉が動かなくなっ
ちやうみたいで、ゴハンも食べられなくなって、息もできなくなって、心臓も
止まっちゃう、らしいです。
スピカ え、え、本当に？
ヒカリ ひきますよね、
スピカ いや、ひくっていうか、え、大丈夫？
ヒカリ あ、伝染ったりしないんで安心してください、
スピカ いや、そうじゃなくて、
ヒカリ だから、あの、人はいつ死ぬかわからないから、ちゃんとお別れして
ください、

間。

スピカ ……わかったよ、
ヒカリ はい、
スピカ え、そんな病気なのに、こっち来たの？
ヒカリ はい、お父さんが、一回、見ておいた方がいって、
スピカ え、
ヒカリ 地球、
スピカ ああ、
ヒカリ 実家？ みたいなもんだからって、
スピカ ああ、そっか、
ヒカリ はい、
スピカ どうだった？ 実際に来てみて、
ヒカリ あ、なんか、思ったより、ボロい、
スピカ え？
ヒカリ あ、そうじゃなくて、
スピカ あ、うんうん、そうだよ、全部、なんか、ボロいよね、
ヒカリ いや、違うんです、なんかボロいっていうか、なんか、はじめて来た
のに、なんか懐かしい、なって、思ったんです、それが、不思議で、
スピカ へえ、
ヒカリ あの、今の話、内緒にしておいてもらってもいいですか、
スピカ あ、うん、もちろん、え、どうしたの、
ヒカリ いや、
スピカ え、なんか変だよ、さっきから、
ヒカリ あの、
スピカ なに、だいじょうぶ？ 苦しいとか、え、座る？ 座る？
ヒカリ あの、トイレってどっちですか、
スピカ トイレ？
ヒカリ はい、
スピカ ああ、向こう、
ヒカリ ありがとうございます、あ、でも、
スピカ だいじょうぶ、ここにいるよ、

ヒカリ はい、約束ですよ、
スピカ わかった、
ヒカリ はい、

ヒカリ、出て行く。

【20】

スピカ ……

カセットデッキのボタンを押す。時報と音楽。
せりふを確認するように静かに、

スピカ 白いカーテン、テン井のシミ、教室の隅、プールの匂い、青い空、水の音、ノート、教科書、参考書

言葉は徐々にリズムカルになる。

スピカ、ふいに踊りだす。

言葉はよりリズムカルになる。

スピカ おべんとう箱、ゴミ箱、ふで箱、バコつとはずれる、教室のドア、には、プリント、シール、マグネット、ぐねつと曲がった通学路、

スピカ めぐる24かける7、かける365わる7

スピカ 日月火水木金土日、月火水木金土日、火水木金土日、日月火

スピカ スイキンチカモクドテンカイメイ

スピカ めぐりめぐる、(めくるめく)、めぐる、(めまぐるしく)、日めぐりカレンダー、(めくる)、めぐりめぐられ、(メリーゴーランド)、めがまわる、(めがくらむ)、めまいがする、(めがさめる)、ゆめからさめる、

スピカ、遠くの何かに気が付き、カセットの再生ボタンを止める。

スピカ ……

スピカ、出て行こうとするが、立ち止まる。

スピカ ……

引き返し、カセットを取り出そうとするが上手く取れない。

スピカ !

スピカ、カセットテープを取り出す。

どうやら誰かが音楽室に向かってきているようだ。

スピカ、逃げるのをあきらめ、カバンを持ってロッカーの中に入る。

【21】

誰もいなくなった教室。蝉の鳴き声。

【22】

シャイン、やってくる。

シャイン ……あれ、

反対側からカノン、やってくる。

カノン え?

シャイン え、カノン、いつからいた?

カノン え、今ですけど、シャイン先輩いました?

「わたしの星」

シャイン ん？
カノン え？
シャイン いた？
カノン いました？
シャイン え、
カノン え、
シャイン え、俺ら、お互いを見つけて廊下走ってきつたこと？
カノン え、(うれいし)
シャイン ん？
カノン あ、いや、スピカ先輩、本当に引越しちゃうんですかね、
シャイン どうかな、
カノン 言ってくれたら、よかったのに、
シャイン 言いにくかったんじゃないの、
カノン だって、夏休みの間だつてずっと練習で会ってますよ、
シャイン まあね、
カノン いや、シャイン先輩は卒業したら、すぐに火星に行くんですよね、
シャイン いや、俺は行かないよ、
カノン え！
シャイン ん？
カノン 行かないんですか！
シャイン え、うん、
カノン え、え、え！ え、どうして！
シャイン いや、就職しようかなって、
カノン こっちで働くんですか！
シャイン うん、まあ、今すぐ向こうに行く理由もないしね、
カノン え、くないでしょう！
シャイン え、別にないけど、
カノン だって、こんなに暑いのに、
シャイン 暑い嫌いじゃないし、
カノン 全然、人もいないし、
シャイン 人いないの嫌いじゃないし、
カノン 働くところだつてないし、

シャイン 役場と農協があるじゃん
カノン 役場と農協しかないじゃないですか、
シャイン なに、じゃあ、カノンは？ どうすんの、
カノン わ、わたしは、まだ、わかんないですよ、一年生だから、
シャイン いや、関係ないでしょう、
カノン え、
シャイン 自分がどこに住みたいかって話でしょう、
カノン ……誰と住みたいかって話でもあると思います、
シャイン え？
カノン いいえ、なんでもありません、
シャイン ああ、てか、こんな話してる場合じゃないか、
カノン こんな話って、
シャイン 俺、もうちょっと探してくるわ！
カノン あ、じゃあ、わたしも行きます！
シャイン あ、うん、

シャインが行く方向に、カノンついてくる。

シャイン え？
カノン え、
シャイン え？
カノン え？
シャイン いや、手分けした方がいいでしょう、
カノン そうですね、
シャイン じゃあ、俺、こっち行くわ、
カノン はい、

シャインが行く方向に、カノンついてくる。

シャイン (振り返って) え！
カノン え？
シャイン いやいやいや、だから、手分けして探そつって！

「わたしの星」

カノン もう！ なんなんですか！

シャイン いや、それは、こっちのセリフだけど、

カノン じゃあ、もう先輩ひとりで行ってください！

シャイン ええ、

カノン 早く！ 早く！

シャイン はあ……

シャイン、出て行こうとする。

カノン ちょっと！

シャイン え、

カノン なんて行っちゃうんですか！

シャイン え、

カノン 一人でで行っちゃうんですか！

シャイン ええ、

カノン もうほんと、なんなんですか！

シャイン ああ、もう、わけわかんねえ！

カノン わけわかんないのこっちはですよ！ 行かないでください！ ううん、

行ってください！

シャイン はあ？

カノン 行ってください！ ううん、来てください！

シャイン え、なに、なに、

カノン 来てください！ 火星に！

シャイン え、

カノン わたしと一緒に火星に来てください！

シャイン え、え、

カノン わたし、わたしんち、わたしが高校卒業したらみんなで火星に移住するんです、

シャイン はあ、

カノン もう決まってるんです、ロケットの予約も、もう取ってるんです、だから、先輩も火星に来てください、お願いします！

シャイン え、なんで、俺が、

カノン それは、……先輩にも来て欲しいからです！

シャイン え……

間。

シャイン ……ごめん、

カノン どうしてですか、だっていつかは絶対に行くんですよ、

シャイン まあ、そうなんだろうけど、

カノン じゃあ、

シャイン でも、それは、自分で決めることだから、

カノン え、

シャイン 申し訳ないけど、ごめん、……じゃあ、おれ、探してくる、

シャイン、出て行く。

【23】

カノン、立ち尽くす。

カノン ……

カノン、机に突っ伏す。

カノン ……

【24】

マナ、やってくる。

マナ スピカせんばーい、え、あ、なんだ、カノンか、ちょっと何寝てんの、

カノン ……

マナ なに、ひとりだけ、休んでんだよ、ずりーぞー

カノン ……
マナ あ、無視した、おい、このやるー

マナ、カノンの頭を軽くはたく。

マナ ちよっと、ほんとにスピカ先輩いるのかな、もう帰っちゃったんじゃないの、ねえ、

カノン ……

マナ ねえ、カノン、ねえ、聞いているの、ちよっと、ねえ、ねえ、ねえってば

カノン ……

マナ え、……え、えええ、ちよっと、カノン！

カノン ……

マナ ……泣いてるの？

カノン ……

マナ えええええ、なんでなんでなんで、ごめん、頭たたいたから？ ごめ

ん、痛かった？ ごめん、ごめん、

カノン (泣きながら) ちがうの！ なんでもない！

マナ なんでもないことないでしょう、

カノン なんでもない！

マナ だって、カノン、すこいよ、ちよっと泣かないで、泣かないで、

カノン 泣いてない、

マナ 泣いてるよー、顔ぐちよぐちやにして泣いてるよー

カノン ひどいー

マナ ごめんー、泣かないで、カノン、泣かないでよー、

カノン ちよっとー、なんでマナまで、泣くのー

マナ わかんないよー、もらい泣きー、

カノン マナのばかー、

マナ ごめんー

カノン わー

マナ わー

二人、わけもわからず、号泣。

【25】

ココ、アイスを食べながらやってくる。
マナとカノン、泣いている。

ココ (絶句)

マナとカノン (ココを見つけるも何も言わず泣く)

ココ (ゆっくりと近づき、なんとなくアイス差し出す)

カノン (食べる)

マナ (食べる)

ココ (食べる)

カノン ……マナ！

マナ カノン！

マナとカノン、友情の号泣。

ココ いやいやいやいや、

マナ え、

ココ わかんないよ！ 全然わかんないよ！ なにそれ、なにこの状況、

カノン うるさいな、

マナ ココ、静かにして、

カノン もういいの、

ココ ええ、

マナ ていうか、なにひとりでアイス食べてんだよ、

ココ いや、だって暑くて、

カノン ずるい、

ココ 一口あげたじゃん、

カノン もう一口、ちよっだいよ、

ココ ええ、やだよ、

マナ ケチだな、

ココ 買いに行けば、

「わたしの星」

マナ やだよ、暑いもん、
ココ スピカ先輩、いた？
マナ 知らない、いない、
ココ だよね、だーれもないよー、
マナ もう帰っちゃったんじゃないの、
ココ スピカ先輩、自由だからな、
マナ ココに言われたくないけど、
カノン ねえ、
マナ うん？
ココ ー、
カノン ふたりはさ、いつ火星に行くの、
マナ え、
ココ 唐突だな、
カノン てか、行きたい？
マナ 行きたいっていうか、行くしかないっしょ、
カノン やっぱ卒業したら行くの？
ココ ー ちは行かないよ、
カノン・マナ え！
マナ え、なんで！
ココ え、だって、チクワと離れ離れになるなんて考えられない、
マナ は？
カノン え、チクワって、え、チクワ？
マナ 犬、犬、
カノン なんだ、犬か、
ココ ちよっと！ チクワを犬呼ばわりしないで！
マナ はいはい、
ココ 家族ですから、
マナ じゃあなんでチクワなんて名前にしたんだよ、
ココ いいじゃん、
カノン え、犬って連れてけないの？
マナ 鼻がぶちやいくな犬はダメなんだよ、
ココ 違う！ 鼻が潰れてると気圧の関係で口ケット乗れないの、

カノン え、じゃあ、その犬がいるからみんな残ってるの、
ココ 犬じゃない！ チクワ！
カノン ごめん、
ココ そうだよ、チクワだけ置いてけないって、家族会議で決まったの、
カノン すごい話だね、
ココ ところが、
カノン マナは？
マナ あたしは、行きたい、
カノン え、
マナ ずっと行きたかったし、行けるならいまずぐ行きたい、
カノン え、じゃあ、どうして、こっちいんの？
ココ 家族の誰かが反対してるとか、
マナ ううん、家族全員、行きたがってるよ、
カノン え、じゃあ、なんで移住しないの？
マナ え、やだ、教えない、
ココ わかった、鼻がぶちやいくだからでしょ、
マナ おい！
カノン そっか、じゃあ、しょうがないね、
マナ おい！ ちがうよ！
ココ かわいそうに
カノン ねー
マナ だから、違うって！ 病気！
カノン ……え、なに、
ココ 病気？
マナ 誰にも、言わないでよ、
カノン・ココ うん、
マナ あのさ、口ケットに乗れない病気があるの、知ってる？
カノン うん、
ココ え、そうなの、
カノン 事前のチェックで外されちゃうの、
ココ そうなんだ、
マナ そう、で、完治するまでは移住できないんだけど、それで外されたの、

「わたしの星」

うちの家族、全員
ココ え、
カノン なにそれ、
マナ 内緒だよ、
ココ え、ちよっと、なにそれ、だいじょうぶなの、
マナ だいじょうぶ、そんな、簡単に伝染ったりしないから、
カノン え、でも、家族全員なんですよ、
マナ そうだよ、
ココ え、怖い、怖い、怖い、怖い、
カノン なに、病気って、なに、
マナ ……水虫、
カノン・ココ え、
マナ だから、うちの家族全員、水虫だったの……
カノン・ココ ……ぶ、ぶ、ぶはははははははははは！
マナ ちよっと、笑い事じゃないんだよ！
カノン だって、だって、水虫って、
ココ やばいやばい、お腹痛い、
カノン それってどうにかなんないの、
マナ どうにもなんないよ、足を清潔にするしかないんだよ、
カノン うひひひひひ、
マナ 水虫菌を殺す薬ないんだからね、それで、うちが小学校のときに一回、
家族全員はじかれてるの！ めっちゃ恥ずかしかったから！
カノン 大変、だったねえ、
ココ けけけけけけ、
マナ このやるー、うつしてやる！
ココ ちよっと、やめて！
マナ いいでしょ、ココ、火星、行かないんだから！
ココ 行かなくても水虫にはなりたくない！
カノン あははは、
ココ ちよっと、カノン、笑ってないで止めてよ、
マナ カノンにもうつしてやる、
カノン やだやだやだ！

ココ ちよ、ちよっと、マナ、マナ！
マナ 許さない！
ココ そうじゃなくて！

【26】

メグ、3人がふざけ合うのを見ていた。
メグ、机を床に叩きつける。

ココ・マナ・カノン！
メグ あんたらなにやってんの、
マナ 話し合いをしました！
メグ ふーん、
ココ あの、メグ先輩、スピカ、先輩は、
メグ いないよ、
ココ ですよね、
メグ あーもー、なんなんだよ！（イスを蹴る）
マナ ひよ！
メグ ごめんね！
ココ いいえ！
メグ いや、あたしはいいの、あたしはいいんだけどさ、アカネがさあ、
ココ はい、
カノン アカネ先輩、文化祭燃えましたもんね、
マナ 台本ずっと書いてたよね、
メグ そうだよ、
カノン 一学期からずっと、
メグ うちらは、これで最後の発表だしさあ、
ココ はい、
メグ あーもー、
マナ あ、おつかれさまです

【27】

サイトウ、やってくる。

サイトウ 別につかれてないけど、え、なに、いたの、
ココ スピカ先輩ですか？

サイトウ そう、

ココ いいえ、

サイトウ え、じゃあ、何してんの、

マナ あ、いや、ちよっと、話を、

サイトウ 話って、

マナ アカネ先輩、最後の発表でがんばってたのになあって、

サイトウ ふーん、え、これ、もう帰っていいの、

メグ だめ！

サイトウ なんで、もう今日、練習にならないでしょ、

メグ まだわかんないじゃん！

サイトウ もう帰ったんだよ、時間の無駄じゃん、

メグ 無駄？

サイトウ だから帰っていいでしょ、

メグ だから、だめだって言ってるでしょ、

サイトウ じゃあ、いつまで、いたらいいの、

メグ それは、……アカネが帰ってくるまで、

サイトウ そ、わかった、

サイトウ、参考書を開いて勉強をはじめろ。

マナ ねえ、

カノン え、あ、うん

マナ あ、うちら、もうちよと探してきます、

カノン あ、うん、ココも行く？

ココ あ、そうだね、屋上とか、いるかも、

サイトウ いないよ、さっき見たから、

ココ あ、そうすか、

サイトウ どうせいないんだから、ここで待ってれば、
マナ あ、でも、はい、ちよっと行きます！
カノン はい、失礼します！

マナ、カノン、ココ、出て行く。

【28】

メグ ……あのさ、

サイトウ うるさい、

メグ ……なんなの、

サイトウ 黙って、気が散る、

メグ いいかげんにしてよ、

サイトウ なにが、

メグ なんで、わたしばっか、目の敵にするわけ、

サイトウ 別にしてないし、

メグ してんじゃん、

サイトウ してない、

メグ 言いたいことがあるならハッキリ言えば、

サイトウ ないし、

メグ ま、大体、理由はわかってるけど、

サイトウ は？ あんまり思い上がらないほうがいいんじゃないの、

メグ は？

サイトウ ちよっと黙って、農家の娘がでしゃばんなって言うてるの、

サイトウ、参考書を読む。

メグ近づくと。サイトウ、逃げつつ、参考書を読む。

メグ いつまで、そのページ読んでんの、

サイトウ ……うるさい、

メグ 朝からずっとおんなじ問題解いてない？

サイトウ ……黙って、

メグ ねえ、そんな簡単な問題にどんだけ時間かかってんの、
サイトウ ……こっちにこないで、

メグ 立体、斜めにしてくっつけたら、球になるじゃん、それで、体積もとめ
んだよ、(???)

サイトウ ……

メグ ガリ勉のくせにどうしてそんな勉強できないの、

サイトウ うるさいな！

メグ え、

突然、サイトウ、メグに向かっていく。メグ、逃げる。

サイトウ 気が散る！ もう！ もー！ うるさい！

メグ なんだよなんだよ

サイトウ なんで！ ねえ、なんで！ なんで！ なんで！ なんで！

メグ なにが、

サイトウ なんで、あんた、そんなに頭いいの！

メグ いや、別に普通だけど、

サイトウ 普通じゃないでしょ！ 超頭いいでしょ！

メグ いや、こういっちゃなんだけどサイトウさんが極端に悪いだけだと思う

サイトウ しょうがないでしょ！ どんだけ読んでも、全然、頭に入ってこな

いの！ 勉強しても、勉強しても、全然、身につかないの！

メグ わ、わ、

サイトウ 知ってるんだからね、

メグ え、

サイトウ 推薦、蹴ったって、知ってるんだから、

メグ なんてだよ、誰に聞いた、

サイトウ 誰だっていいでしょ、ふざけないでよ、なに、辞退ってばかじゃな

いの、

メグ だって、あたし火星も大学も行く気ないし、

サイトウ ふざけんな！ そんなわけないでしょ、こんなとこ誰も住んでたく

ないでしょ、ベタベタするし、田舎もんばかりだし、なんにもない、なんに

もない、みんな出て行った、みっちゃんも、ゆりポンもみんな行っちゃった、

みんな行っちゃったよ、

メグ え、誰、それ、

サイトウ 友達！ 昔の！ 友達！ 会いたい、会いたいよお、もう、やだ

よ、こんなとこいたくない、

メグ ……行けばいいじゃん、火星、

サイトウ あんた、うちがどんだけ貧乏か、知ってるの、

メグ いや、知らないけど、

サイトウ 貧乏を頭に浮かべて、貧乏を、

メグ え、なに、

サイトウ 浮かべて！

メグ え、

サイトウ 浮かべた？ 貧乏、

メグ うん

サイトウ それをね、そのね、その、そのゼロを6つ引いたのが、うちの

貧乏！

メグ え、え、え、よくわかんない

サイトウ 上手く言えないの！ バカだから！

メグ いや、ちょっと落ち着いて、

サイトウ 特待生になりたいの、特待生になるしか、あたしがこの星から出て

行く方法はないの、

メグ いや、よくわかんないけど、そんなことないんじゃないかなあ、

サイトウ 強制移住がはじまるころには、もう、あたし、お婆ちゃん、それま

で、こんなところはずっといるのなんて嫌、耐えられない、

メグ え、なんで、全然、わかんない、

サイトウ こっちこそ、わかんないよ、あんたは、なんで、ここにいの、行

けばいいじゃない、さっさと飛び級でもして、向こうの大学に行けばいいじゃ

ない、

メグ いや、行かないよ、

サイトウ なんで、

メグ ばあちゃんいるから、

サイトウ ……は、

メグ ばあちゃんとたんぼ、置いていけねーんだよ、

サイトウ ……なにそれ、

メグ ばあちゃん最後までここに住みたいって言って、ひどいんだよ、みんな、ばあちゃんだけおいていこうって、それで、あたしだけ残ったの、

サイトウ ……なにそれ、自慢？

メグ え、いい人、自慢？ 頭よくて、人間まで出来てるって？

メグ え、ひねくれすぎてない？

サイトウ ほっといてよ！

メグ 田んぼは持ってけないし、ばあちゃんも置いてけないんだよ！

サイトウ 知らないよ、そんなこと！

メグ 人のこと言ってるひまあったら勉強したら！

サイトウ あんたが邪魔したんだよ！

メグ じゃあ、しろよ！

サイトウ するよ！

メグ がんばって！

サイトウ がんばるよ！

サイトウ、参考書を拾って、席に戻る。

[92]

アカネ、入ってくる。

サイトウ あ、

メグ アカネ、

アカネ ……いた？

メグ いや、

アカネ そっか、

メグ あ、でも今、一年たちが探してる、

アカネ ううん、もういいよ、あきらめよ、帰ったんだよ、

メグ そんなことないよ、

サイトウ、出ていこうとする。

メグ ちょっと、どこいくの、

サイトウ 帰っていいって言ったでしょ、

メグ ダメ、

アカネ ちょっと待って、

サイトウ え、

アカネ 発表のことどうするか、みんなで話したいんだ、だから、もうちょっとだけ、

サイトウ ……ちょっとね

メグ なにそれ、どういうこと、

アカネ うん、みんな来たら話そうと思ってるんだけど、

メグ なんて、話してよ、

アカネ うん、

メグ なに、

アカネ ……いや、なんか、そんな無理してまで、文化祭の発表とかやる意味

あんのかなくて、

メグ え、

アカネ だってさ、うちらがなんかやっても、誰が見に来るわけでもないし、

メグ え、来るよ、来るじゃん、

アカネ 誰が、

メグ うちのばあちゃんとか、

アカネ うん、家族とかは来てくれるけどさ、他の学校の生徒とかだってこなし、ていうか、他の学校ないし、

メグ そうだけどさ、

アカネ 去年もさ、やって楽しかったけど、なんか、終わって逆に、むなしく

なったりとかもしたんだよね、

メグ なにそれ、

アカネ なんなかった？ だって、あんなに体育館広いのに、いたのうちらだけじゃん、

メグ そうだけど、

アカネ いや、スピカのこととか関係なくさ、なんのために文化祭とかやって

「わたしの星」

るのかなーとか考えちゃって、いや、だめだね、一応、実行委員長なのに、メグ ……

サイトウ なに、じゃあ、どうすんの、やめるの、アカネ もし、みんながそっちのほうがいいって言うなら、

メグ あたしはやだ、アカネ え、

メグ あたしはいやだ、アカネ なが、

メグ やめるのいやだ、アカネ なんて、

メグ なんてかわかんないけど、とにかくいやだ、アカネ それは、わかるけどさ、

メグ だって、だって、うちら、なくなったりとか、いなくなったりとか、そんなのばっかじゃん、どんどん、なくなっていくばっかじゃん、

アカネ うん、メグ 部活も、クラス替えも、全部、どんどん無くなって、だから、あたしやだ、文化祭、なくなるの、やだ、

アカネ ……

サイトウ やろうよ、メグ え、

サイトウ なに、アカネ え、どうして、

サイトウ 文化祭に積極的に参加したかどうかも、内申に関わるんだよね、メグ あんたさあ、

アカネ メグ、サイトウ あたしだって中止は困るって言うてるの、

メグ その理由が気に入らないって言うてるの、

サイトウ なんであんたに気に入られないといけないの、今はアカネの気持ちの話でしょ

メグ ……
アカネ ……あたしさ、
メグ なに、

アカネ 普通の高校生活、送るの、夢だったんだよね、メグ なにそれ、普通ってなに、

アカネ わかんない、なんか、ドラマとか、漫画に出てくる、高校生活、メグ 屋上でお昼ごはん食べちゃうみたいな、

アカネ そうそう、

メグ うちの屋上だと焼けちゃうけどね、

アカネ そういう、普通の学校生活がしたかった、

メグ うん、アカネ 火星に行けば、そういうのできたのになって思ったりもしたし、

アカネ でもさ、あちーあちー言いながら、このメンバーで集まっているのも、悪くはないかなって思うときもあったの、

メグ どっちなんだよ、アカネ わかんないよ

メグ わかるだろ
アカネ だってさ

メグ うん、アカネ 誰も見てないんだよ、

メグ いいよ、誰も見てなくて、

アカネ 超しょぼいんだよ、

メグ いいよ、超しょぼくて、

アカネ みんな火星に行っちゃったんだよ、

メグ いいよ、行っちゃって、うちらはうちの文化祭やるうよ、

アカネ ……うん、

間。

アカネ・メグ ……きやー！

メグ ……え、今のなんか、ドラマっぽくね、

アカネ ドラマっぽい、ドラマっぽい、

メグ きもちわるいー！
アカネ きやー、わー、ういー、

メグ なんだよ、急に照れ隠しすんなよ、アカネ サイトウさんもういー
サイトウ なに、やめてよ、
メグ ういー
サイトウ まじでやめるよ！
メグ う、

[03]

シャイン、やってくる。

シャイン あれ、スピカ、見つかった？
メグ 見つかってねーよ、
シャイン なんか、楽しそうだったけど、
メグ シャイン、うるさい、
シャイン あのさ、俺、考えたんだけど、
メグ なんだよ、
シャイン あのさ、なんか、俺達が文化祭とかやる意味あるのになって、
メグ ふざけんな！
アカネ 意味とかじゃねーんだよ！
メグ どうなっても文化祭やんだよ！
アカネ ほんとシャイン、よわっちーな、
シャイン ええ、
サイトウ ひよってんじやないよ
シャイン えええ、
アカネ さて、これからどうするか、考えないとね、
シャイン これからって、
アカネ スピカが抜けた後、どうするかって、
メグ 誰が、スピカの代わりをやるか、
アカネ スピカのかわりかー、
メグ ココがやりたがるんじゃない、
アカネ ないない、

メグ うん、ないよね
アカネ いや、誰かが代役してもさ、結局ひとり少ないからな、
メグ あ、じゃあ、あれは！ うちのばあちゃん！
アカネ なんてだよ、
シャイン あれじゃない、
メグ なんだよ、
シャイン ヒカリさん、にやってもらうしかないんじゃない、
アカネ それね、
メグ あたしもそれ考えてた、
アカネ ヒカリちゃん、なんか楽器とかできるかな、
メグ それよりダンスでぎんの、
サイトウ 意外とどんくさそう、
シャイン いやいや、
アカネ 意外と根性ありそうだし、だいじょうぶだよ、

[31]

ナナホ、やってくる。

アカネ あ、ナナホ、
ナナホ 先輩、
アカネ スピカ、いた？
ナナホ ……いいえ、いませんでしたか？
アカネ うん、きつと言いつらくて、帰っちゃったんだよ、
ナナホ あの、すいませんでした！
アカネ え、どうしたの、
ナナホ わかんないです、でも、すいませんでした！
アカネ いやいや、そんな、謝られても意味分かんないし、ナナホが謝ることでもないでしょ、
メグ そーだよ、知らなかったんでしょ、
ナナホ はい、
メグ じゃ、しょうがないじゃん、

アカネ そうだよ、
ナナホ でも、あたし、気が付かなかったです、なんにも、
アカネ え、
ナナホ ずっと、席となりで、教室でもずっと二人だったのに、なのに、スピカが転校するなんて、全然、知らなかったから、
アカネ しょうがないよ、だって、あたしだって、メグのことなんか全然わかんないもん、
メグ え！
シャイン 近くにいてもさ、逆にわかんないもんじゃない、
アカネ そうそう、たまにはいいこと言うじゃん、
ナナホ わたしのせいかもしれないです、
アカネ ん、なにが、
ナナホ スピカが転校するの、
アカネ んん？
ナナホ わたしのせいかもしれないで、それで、
アカネ え、そうなの、
ナナホ いや、わかんないんですけど、
メグ どっち、
アカネ え、どうして、どうしてナナホのせいなの、
ナナホ わたしとスピカ、ずっと一緒だったんです、子どもの頃から、小学校も、中学も、
アカネ うん、
ナナホ それで、ずっと、ずっと一緒だと思ってたんです、わたし、もしかしたらなんか、自分がスピカなんじゃないかって思ったのかもしれないけど、
一同 ん？
ナナホ でも、やっぱりわたしとスピカは違って、どんどん、どんどん、スピカはわたしの前に行っちゃって、
アカネ うん、
ナナホ スピカが必ず前で、わたしは後ろで、わたしが持っていないものを、スピカが持っていて、逆上がりも、九九も、平泳ぎも、誕生日も、スピカの方が先で、わたしが後で、
アカネ ん？

ナナホ ダンスも、歌も、先輩と仲良くなるのも、後輩に信頼されるのも、明るさも、ひらめきも、勇気も、全部、全部、スピカにはあるのに、わたしにはなくて、他にいればまた違ったのかもしれないけど、ずっとずっと、スピカとふたりだから、わたし、わたし、悔しくて、ずっとずっと比べて、ずっとずっと嫌で、比べてることもっと嫌になって、どんどんスピカが嫌いになって、それよりもっと、もっと、自分が嫌いで、大嫌いになって、
アカネ うん、
ナナホ だから、スピカなんか、どっか行っちゃって、ずっと思ってたんです、
アカネ ……
ナナホ だから、だから、わたしのせいなんです、

間。

サイトウ 関係なくない？
アカネ うん、そうだね、関係ないね！
メグ 関係ないでしょ！
シャイン 関係ない！ 関係ない！
ナナホ え、
メグ 考え過ぎ！
シャイン そうそう！
アカネ うん、そう悩んだことと、スピカがいつちゃうのは、本当は関係ないから、
メグ そうだよ、そんな、ひとりで抱え込むなよ、
サイトウ スピカは関係ない、スピカがいなくなったって、関係ない、そういうふうには考えてる限り、ずっとあんたは変わらない、
アカネ ちょっと、
メグ なに勝手なこと言ってんだよ、
サイトウ 勝手じゃない、あたしも一緒だから、
メグ ……
サイトウ 自分の問題でしょ、
ナナホ ……はい、

アカネ そうだよ、もしかしたら、スピカもスピカで悩んでたりしてたのかも
ナナホ え、
アカネ だって、そうじゃなきゃ、こんなふうにごそごそしないでしょ、
メグ そうだよ、スピカだって、なんかそれなりに悩んでるってことでしょ、
アカネ なにそれなりって、
メグ わかんないけど、

【22】

マナ、カノン、ココやってくる。

マナ 先輩、みつきりませーん、
アカネ おかえり、
マナ もう、あつくて、限界です、
アカネ おーおーありがとうねえ、もういいよ、
カノン え、もうあきらめるんですか、
アカネ うん、もうこれ以上さがしてもきりないしさ、
カノン えーじゃあ、どうするんですか、
アカネ うちらだけでも、文化祭やるうってことにしたから、それで一年生も
いいかな、
マナ え、いっていうか、そうだと思ってましたけど、
カノン え、やめるんですか、
アカネ やめないやめない、
カノン よかった、
アカネ あ、でもね、スピカが抜けるから、ひとり足りなくなるわけで、
マナ ああ、
アカネ それで、スピカの代役をヒカリちゃんにやってもらおうって、
マナ・カノン え！
アカネ お願いしてみようと思っただけど、いいかな、
ナナホ あ、はい、
ココ え、いいと思います、
メグ え、でも、どうやって頼む？

マナ やってくれますかね、
メグ あ、ものでつる？

ココ アイス！

マナ あ、いいね！
カノン 買ってきましょつか！
アカネ え、でも味は！

ココ みんな好きなバナナ！
メグ きらい！

ココ なんで！
カノン チョコはどうですか、

シャイン 待って！ お米はみんな好きじゃない？
ココ 米味ですか？

シャイン そうじゃなくて、メグんちのお米プレゼント！
ココ おー

サイトウ ちょっと、
アカネ え、

サイトウ ちゃんと言ったほうがいいんじゃないの、
アカネ え、ちゃんとして、

サイトウ だから、そういうんじゃない、正直にちゃんと言えればいいでしょ
一同 ああ、

アカネ たしかに、そう言われれば、そうだね、
メグ え、どうすんの、

アカネ え、じゃあ、うちが、せーの、って言ったら、
シャイン お願いします、

アカネ そうそう、
ココ え、礼はしますか、

マナ した方がいいんじゃない、
アカネ わあ、ちよちよちよ、

マナ え、
メグ しー！

【23】

ヒカリ、やって来る。

ココ あ！

ヒカリ え、

カノン し、

ココ え、あ、

アカネ以外、お願いの準備をアカネの後ろでこそこそと相談する。

アカネ え、どこに行ってたの、

ヒカリ え、あ、トイシに、でも、迷っちゃって、

アカネ ああ、ここ、わかりにくにんだよね、

ココ 気をつけてくださいね、

ヒカリ え、あ、はい、

アカネ (小声で) じゃあ、あたしが、合図するから、

マナ はい！

メグ 声大きい！

ヒカリ ?

アカネ ……せーの！

一同 お願いします！

ヒカリ え？

アカネ うちの文化発表表に出演してください！

ヒカリ ……あたしですか、

アカネ そう、スピカのかわりに出て欲しいの、お願い、

ヒカリ ……

アカネ だめかな？

ヒカリ ……あの、

アカネ うん

ヒカリ あたし、実は、……

アカネ うん、

ヒカリ ……体が弱くて、

アカネ あ、そうなんだ、踊ったりとかできない感じ？

ヒカリ 踊り？

メグ ダンスがあるの、

ヒカリ ……はい、

アカネ 無理かな、

ヒカリ ……あたし、弱いんです、みなさんが思ってるよりはるかに、

アカネ うん、

ヒカリ ……でも、あたしでよければ、やりたい、です、

アカネ ほんとに！

ヒカリ はい、

アカネ ありがとう、

メグ よかったー

一同、喜ぶ。

アカネ ありがとう！ ありがとう！ よろしくね！ お願いね！

ヒカリ ……はい、

メグ わかんないことあったらどんどん聞いて、なんでも教えるから、

ヒカリ はい、

アカネ よし、じゃあ、ヒカリちゃんに、うちの発表がどんなにか、見ても

らおう！

メグ そうしよう、そうしよう、

アカネ みんな、準備して、

マナ・カノン はい

メグ スピカのところ、どうしよう、

ココ はい！ はい！

アカネ えっと、じゃあ、とりあえず、あたしがやるうかな

シャイン できんの、

アカネ 台本、見れば、

メグ おっけ、

ヒカリ え、スピカさんは、

アカネ え、スピカ？

ヒカリ いないですか？

アカネ え、

ヒカリ え？

アカネ え、もしかして、会ったの？

ヒカリ はい、

一同 えええ！

アカネ え、え、いつ、

ヒカリ さっき、

一同 さっき！

メグ どこどこどこ

ヒカリ ここで、

一同 ええええ、

アカネ じゃあ、いるってこと？

メグ なんだよ！

アカネ ちよつと、もっと探そう！

ヒカリ あの、

アカネ え、

ヒカリ あたしも探します

アカネ ありがとう、

メグ ちよつと手分けして探そう！

マナ はい！

一同、出て行く。

【34】

誰もいなくなった教室。

スピカ、ロッカーから出てくる。

スピカ ……

一度、出ていこうとするが、立ち止まる。

スピカ ……

なにか楽器（ロッカー？）の近くに行き、高らかに打ち鳴らす。

スピカ ……います！ わたし！ ここにいます！ ここです！

スピカ、楽器を叩きながら、しばらく叫び続ける。

【35】

一同、戻ってくる。

一同 え、

スピカ あ、

一同 ……ええええええええ！ スピカ！

スピカ おはようございます

一同 いやいやいやいやいや！

メグ おはようございます、じゃねーよ、

アカネ どこにいたの！

スピカ え、そこに（ロッカー）

一同 ええええええええ！

カノン え、いつから、いつからですか！

スピカ ずっと、

カノン ずっと？

スピカ うん、カノンとシャインが、

カノン・シャイン わわわわわ！

サイトウ え、じゃあ、うちが、

アカネ あたしたちの話も、

マナ あ！ あたしのあれも、

スピカ はい、みんな、色々あるんですね、

「わたしの星」

一同、大騒動。

アカネ めっちゃ、探したんだぞ、
スピカ すいません、
アカネ いや、すいませんじゃなくて！
スピカ いや、本当に、すいませんでした、

スピカ、深く頭を下げる。

アカネ え、
スピカ ずっと、言おうと思ってたんです、でも、言えませんでした、
アカネ ……
スピカ あたし、明日、転校します、
アカネ 火星？
スピカ はい、
アカネ なんて、黙ってたの、
スピカ ……怖くて言えませんでした、
アカネ なのに、
スピカ みんなに、嫌われるのが、
アカネ バカ、
スピカ はい、

ナナホ、スピカに近づくと、

スピカ ……
ナナホ (おもいつきりビンタ)
一同 え！
ナナホ (スピカに抱きつく)
一同 え！
ナナホ ……よかった、
一同 ええ！
ナナホ もう、会えないかと思った、

スピカ ごめんね、
ナナホ ごめん、
スピカ あたし、知ってたよ、ナナホの気持ち、
ナナホ ……
スピカ あたし、そんなに強くもかっこよくもないんだよ、
ナナホ ごめん
スピカ あたしこそ、ごめん、

一同、抱擁する二人を、驚きつつも見守る。
なんとなく気まずいので、出ていこうとしたり。

ココ わたしも！（二人に抱きつく）
メグ なんてだよ！
マナ ずるい、あたしも！
一同 おい！

以下、ひとりずつ、抱きついていく。

アカネ じゃあ、あたしも！
メグ え？
アカネ ほらメグも！
メグ えー、……おりゃー
マナ ぎゃー、苦しい！
アカネ サイトウさんも！
サイトウ え、意味、わかんない、
メグ お前は！ はやくしろよ！
マナ カノン！
カノン えー
アカネ ほら、ヒカリちゃんも！
ヒカリ え、
シャイン じゃ、おれも！
メグ おめーは下がってる！

「わたしの星」

アカネ メグ！ シャインも！
メグ じゃあ、お前は反対！

一同、ひとつになる。

一同 暑い暑い暑い！

一同、離れる。

アカネ え、なにこれ、意味分かんない！ 意味分かんない！

スピカ めっちゃ、汗かきましたし、

アカネ あれ、なんだったつけ、

メグ なんだったつけじゃないよ、

アカネ あ、発表だ！

スピカ 早く、やっちゃいましょうよ、

メグ お前が言うな！

スピカ すいませーん、

アカネ じゃあ、ヒカリちゃんに発表見てもらおう！

一同 はい！

アカネ あ、じゃあ、ヒカリちゃん、そこで見ててね、

ヒカリ え、あ、はい

ヒカリ、適当なイスに座る。

アカネ えっと、この発表のタイトルは「わたしの星」ってあって、宇宙の話
しなのね、

ヒカリ はあ、

メグ それ、さっき話したでしょ、

ヒカリ はあ、

アカネ えっと、で、こう、うちらもいつか火星に行くし、地球も住めなくな
るわけじゃん、で、いつか死ぬわけでしょ、
ヒカリ はい、

アカリ で、その何十億年っていう時間と、わたしたちの一生の時間？ と、
高校の3年っていう時間？ もう全部、時間だなんて思って、その生まれて死
ぬまでと入学して卒業するまで、を重ねた作品なのね、

メグ だから、わからないってば、

ヒカリ はあ、

ココ あ、時報は？ 時報は火星にもありますか、ぴ、ぴ、ぴ、ぽーん、

ヒカリ あ、あります、

ココ やた！

アカネ 時報に合わせて、みんなで演奏もするから、

メグ もういいよ！ はやくやるうよ！

アカリ はいはい、じゃあ、いくよー、

メグ あ、ねえ、やっぱ暗いほうがよくない？

マナ え、なんの話ですか？

アカネ またそれ？

メグ 発表のときの体育館、真っ暗にしたいよね！

カノン あ、いいですね、

一同、なんとなく持ち場に着く。

アカネ もういいよその話は！ はい、じゃあ、これがうちの発表です、
ヒカリ (拍手?)

【36】

なにかがはじまりそうな、間。

マナ それは、はるか昔、私たちが生まれるよりもずっと昔の話、

ココ そこはなにもない、暗黒の世界が広がっていた、いや、その世界もな
かった

サイトウ 人間はもちろん、

メグ ありとあらゆる生物は存在せず、

カノン 星もなく

「わたしの星」

シャイン 光もなく
アカネ 風もなく、
ナナホ 空もなく
スピカ 時間も無い、
マナ だけど、それは、突然、起こった！

ヒカリ、予想外のアングラな雰囲気にとちよとひく？

アカネ じゃあ、せーの

一同 最初は無、ビックパン

ピアノで時報4秒。

以下、一同は楽器を演奏する。

スピカとナナホは、リズムに合わせて歩いたり、
ダンスしたりしながらセリフを発する。

以下の言葉は演奏されている音楽の上でリズムカルに発せられる。

ココ・マナ・カノン・スピカ 0年、
アカネ・シャイン・メグ・サイトウ・ナナホ 0時、
ココ・マナ・カノン・ナナホ・スピカ 0分、
アカネ・シャイン・メグ・サイトウ・ナナホ 0秒、
ココ ちようどをお伝えしました、
一同 誕生日、おめでとう！ おめでとう！ え、誰の？ 誰、誰？（など）

スピカ 時間
ナナホ 空間
スピカ 希望
ナナホ 失望
スピカ 声

ナナホ 聞こえない

スピカ 命

スピカ・ナナホ あたし達

一同 ハッピーバースデートゥーアス

スピカ 世界

ナナホ 限界

スピカ 関係

ナナホ 崩壊

スピカ 出会い

ナナホ いさかい

スピカ 旅立ち

一同 ハッピーバースデートゥーアス

スピカ ひかり

ナナホ 暗闇

スピカ のぞみ

ナナホ 苦しみ

スピカ こだま

ナナホ だんまり

スピカ こまち

一同 ハッピーバースデートゥーアス

スピカ 誕生

ナナホ 東京

スピカ おめでとう

ナナホ ありがとう

ナナホ 誕生

スピカ 東京

ナナホ おめでとう

スピカ ありがとう、

シャイン 次は東京、東京、開くドアにご注意ください

「わたしの星」

スピカ 上野

ナナホ 池袋

スピカ 新宿

ナナホ 渋谷

スピカ 五反田

ナナホ 品川

スピカ 田町

スピカ・ナナホ 御徒町

一同 ハッピーバースデートゥーアス

アカネ これがうちののはじまりです。今からおよそ、

一同 15年前！／16年前！／17年前！／18年前！

アカネ うちらはこうして生まれました！

スピカ・ナナホ 白いカーテン、テン井のシミ、教室の隅、プールの匂い、青い空、水の音、ノート、教科書、参考書

スピカ・ナナホ おべんとう箱、ゴミ箱、ふで箱、バコっとはずれる、教室のドア、には、プリント、シール、マグネット、ぐねっと曲がった通学路

**音楽、少し静かに。
ナナホとスピカは、リズムに合わせず自然に会話する。**

スピカ おはよう、

ナナホ え、

スピカ ナナホ、おはよ！

ナナホ あ、おはよ、

スピカ なに寝ぼけてんの、

ナナホ 寝ぼけてなんかないよ、

スピカ あーなんかどきどきしない？

ナナホ え、なんで、

スピカ なんで？ なんで？ だって高校生だよ、ティーンだよティーン、

ナナホ だって、今までと変わらなじゃん、

スピカ 変わるよ、どんどん、変わって行くよ、

ナナホ あたしたちしかいないじゃん、

スピカ そうだよ、それがいいじゃん

ナナホ えー、

スピカ これからも毎日、一緒に行こうね、

ナナホ ……

**音楽、少し大きくなる。
スピカとナナホは、リズムに合わせながら、会話する。**

スピカ ねえ、おぼえてる？

ナナホ おぼえてるよ、

スピカ これ、入学したときの私たち、

ナナホ 知ってる、

スピカ 忘れちゃったのかと思ってた

ナナホ 忘れるわけじゃないじゃん

スピカ どうして、

ナナホ ずっと見てたから

スピカ ずっと見てたんだ

ナナホ ずっと見てた、

スピカ ずっと見てたの？

ナナホ ずっと見てたんだよ、

スピカ きも、

ナナホ ちよ、

スピカ めぐる24かける7、

ナナホ かける365わる7

スピカとナナホは以下の言葉を分け合いながら、リズムにのせる。

「わたしの星」

スピカ・ナナホ 日月火水木金土日、月火水木金土日、火水木金土日、火、
スイキンチカモクドッテンカイメイ

スピカ・ナナホ めぐりめぐる、めぐるめく、めぐる、めまぐるしく、日めく
りカレンダ、めくる、めぐりめぐられ、メリーゴーランド、めがまわる、めが
くらむ、めまいがする、めがさめる、ゆめからさめる

スピカとナナホ以外、以下の言葉をリズムに乗せて歌う。

一同 目覚まし鳴る、始業のベル、この星に、私たちはいる

ひかれあって、近づいて、ぶつかって、遠ざかって

まる、で星、みた、いに、きら、めき、消え、てく

この夏は永遠、じゃなくてやっぱ一瞬

一同 一週間、めぐる日常、一光年、遠い日常

目覚まし鳴る、始業のベル、この星に、私たちはいる

まだ宿題も終わってないのに

時間はわたしを置き去りにして

取り残されたわたしたちの目に

あの星の光、かすかに見える

音楽、静かに。

スピカとナナホ、リズムに合わせて自然に会話する。

スピカ おはよう、

ナナホ おはよう、

スピカ ……どうしたの？

ナナホ あのさ、

スピカ なに、

ナナホ あの、あたしたちもさ、いい年だしさ、

スピカ え、なに、

ナナホ いや、だからさ、いつまでも子供じゃないし、

スピカ なに、言いたいことがあるならハッキリ言えば、
ナナホ だから、もう、やめにしない？

スピカ なにを、

ナナホ 一緒に、学校行くの、

スピカ ……いいよ、

ナナホ え、

スピカ じゃあ、ナナホ、先に行って、

ナナホ え、

スピカ ほら、先に行って、

ナナホ ……うん、

ナナホ、少し遠くなる。

スピカ ……ねえ、おぼえてる？

スピカ、ナナホから徐々に遠くに向かって話す。

スピカ これ、はじめて、別々になった日だよ、

スピカ この日から、どんどん、遠くなっていったね、

スピカ どんどん、離れ離れになっていった、

スピカ 声も聞こえなくなって、

スピカ 顔も見えなくなって、

スピカ もう、いまじゃ、何億キロも離れちゃった、

スピカ 窓の向こうは雲ひとつない、宇宙。広い広い宇宙の中、遠い遠い星た
ちが光ってる。わたしたちが生まれるよりもずっと前の光がやっとたしの目に
届いて消える。イヤホンから聞こえてくるのは、いつかみんな録音した文化

祭の練習の音。これを聞くと、すぐとなりに先輩が、一年生が、ナナホが、わたしが、そこにいるような気がする。だけど、もうそれはずつと昔のことで、わたしはもうどこにもいなくて、わたしはもう死んじゃったんじゃないかって、窓の外の暗闇を見ていると、そんなふうにも思ったりもする。わたしだけを残して、時間はどんどん進んでいって、みんな大人になって。アカネ先輩は学校の先生になって。メグ先輩は田んぼでお米をつくって。サイトウ先輩は火星の大学院にいて。シャイン先輩は農協でメグ先輩のお米を売ってる。ヒカリさんは地球の病院にいて。マナもカノンもココも、火星に行っちゃって。わたしたちの学校は廃校になって。わたしたちの教室はもう使われなくなって。地球はどんどん暑くなって、誰も、誰もいなくなって。だけど、それでも、あの星には、わたしとナナホがいて一緒に学校に向かっている。窓の向こうは雲ひとつない、宇宙。広い広い宇宙の中、遠い遠い星たちが光ってる。その中で、わたしの、わたしとナナホの星が光ってる。

ナナホとスピカを残して一同、いなくなる。

スピカ・ナナホ 白いカーテン、テン井のシミ、教室の隅、プールの匂い、青い空、水の音、ノート、教科書、参考書

スピカ・ナナホ おべんとう箱、ゴミ箱、ふで箱、バコつとはずれる、教室のドア、には、プリント、シール、マグネット、ぐねっと曲がった通学路

スピカ さようなら、
ナナホ さようなら、
スピカ さようなら、
ナナホ さようなら、
スピカ さようなら、
ナナホ さようなら！
スピカ さようなら！
ナナホ さようなら！
スピカ さようなら！
ナナホ さようなら！

スピカ さようなら！

ナナホ さようなら！ さようなら！ さようなら！

スピカ 何回、言うんだよ、

ナナホ ……

スピカ じゃあね、バイバイ

ナナホ バイバイ、

スピカ、いなくなる。

ナナホ、見送る。

ナナホ、ひとりきりになる。

ナナホ 拝啓、スピカ。お元気ですか。新しい星の生活には慣れましたか。あなたがなくなっただけから、こっちはずつと夏のまま。星空を見るとつい、あなたを探してしまいます。星に引力があるように、人にも引力があると思います。わたし、あなたのことが大好きで、大好きでした。たとえ、どれだけ、離れても、あなたはずつと、わたしの星です。また、いつか会える日を楽しみにしています。さようなら。さようなら。

【37】

夕暮れ。ひぐらし。

ナナホ、音楽室の机で手紙を書いている。

ナナホ ……

ヒカリ、やってくる。

ヒカリ あの、

ナナホ え、あ、え、

ヒカリ こんにちは

ナナホ こんにちは、

「わたしの星」

ヒカリ 踊り、練習してもいいですか、
ナナホ え、あ、もちろん、

ヒカリ、踊り始める。

ナナホ あ、それ、(違う)

ヒカリ え、

ナナホ あ、一緒に、やりましょうか、

ヒカリ すいません、

ナナホ いえ、せーの、

ナナホとヒカリ、一緒に踊る。

ナナホ あ、うん、いい感じです、

ヒカリ ありがとう、

ナナホ いえ、

ヒカリ あの、

ナナホ え、

ヒカリ ナナホさんは、

ナナホ うん、

ヒカリ どうして、こっちにいるんですか、

ナナホ え、

ヒカリ いや、なにか、理由とか、

ナナホ ああ、いや、別にないよ、

ヒカリ え、

ナナホ うちは、どんくさいから、なんとなく最後になっちゃっただけです

ヒカリ え、

ナナホ だって、誰かは、最後になるでしょ、

ヒカリ ああ、

ナナホ スピカはあたしがひとりにならないようにいてくれたんだと思います

ヒカリ ……手紙、書いてたんですか、

ナナホ あ、うん、まだ出発してないのに気が早いよね、

ヒカリ (小さく笑う)

【38】

ココ、やってくる。

ココ 宿題！ 宿題！ 宿題！ 知りませんか！

ナナホ え、あ、

ヒカリ あ、

ココ、宿題を忘れていったようだ。

ココ ああ！ あった！ あった！ すいません！ ここ使っていていいですか！

ナナホ え、あ、どうぞ、

ココ ありがとうございます！

ココ、机にかじりつき宿題をやる。

ナナホとヒカリ (笑う)

【39】

メグとアカネ、やってくる。

メグ だから、絶対、真っ暗にした方がいいって、

アカネ だから、真っ暗にはならないんですってば、よ

メグ 暗幕はればいいじゃん、

アカネ だから、熱中症になったらどうすんの

メグ あ、ヒカリちゃん！ 本物見てるでしょ！

アカネ え、なに、

メグ だから、ロケットの窓から宇宙、見えたでしょ！

ヒカリ あ、はい、

メグ 暗かった！

ヒカリ はい、

メグ ほら！ 経験者が語ってるんだから！

アカネ はいはい、

メグ ココも暗い方がいいよな、

ココ すんません！ 話しかけないでください！

メグ っ、お前、まだ宿題おわってねーのかよ

ココ 終わるわけないじゃないですか、昨日、全然、できなかつたんですよ

メグ だって、もう夏休みは終わってたぜ

ココ いいえ！ まだ夏は終わってません！

メグ なに言ってるんだよ、

ココ 手伝ってください、

メグ あきらめろ、

ココ あ、ヒカリさん！

ヒカリ え、

ココ ちよっと、質問してもいいですか！

ヒカリ え、え、

ココ ヒカリさんのインタビューを自由研究にしようと思って、

ヒカリ え、いいですけど、

ココ えっと、じゃあ、まず、ヒカリさんは火星のどこで生まれましたか、

ヒカリ 所沢（とか？）です、

一同 所沢（とか）！？

ヒカリ え、ええ

アカネ なにそれ、なにそれ、

メグ え、火星に、所沢があるの？

ヒカリ はい、

メグ え、なんで、なんで、

ヒカリ はい、あの、昔、住んでたりした、町の名前を、つけたみたいですよ、

ココ えー、

アカネ どういうこと、

メグ え、じゃあ、町田は？ 町田はある？

ヒカリ はい、

ココ え、じゃあ、武蔵小金井は？

ヒカリ あります、

メグ え、じゃあ、戸越銀座は、

ヒカリ あります、

メグ・ココ まじで！

メグ え、じゃあ、じゃあ、

アカネ きりがいいから！

ココ え、じゃあ、じゃあ、いつか、火星が、地球になっちゃうんですかね

アカネ・メグ ……え？

ココ いや、だから、近い未来、みんな移住するわけですよ、火星に、

アカネ うん

ココ 地球の地名も火星に行っちゃうんですよ、

アカネ うん、

ココ そしたら、今の火星のことを、みんな、地球って呼ぶようになるんじゃないですか、

アカネ・メグ・ナナホ・ヒカリ あー

メグ なるほどね、

ヒカリ そうかも、

ココ ですよね、ですよ、

メグ ココのわりには冴えてるな

ココ やった！

アカネ え、ていうかさ、じゃあさ、じゃあさ、

メグ え、なに、

アカネ じゃあさ、もしかしたら、今、うちらがいる地球っていうのも、そもそも、違う星だったかもしれないってこと？

問。

一同 やばいやばいやばいやばいやばいやばい！

ココ いま、ちよっと、触れてはいけないとこに触れましたよね

メグ なんか、知ってはいけない世界を知っちゃったみたいなの？

アカネ えー、やばい、タブー？ 人類のタブー？ ふれちゃった？

メグ やばいやばい、あたし、そういうのダメ、お化けとか無理、アカネ なんてだよ、お化け関係ないじゃん、メグ お化け関係ないけど、なんか怖い、なんか怖い、サイトウ じゃま、メグ うわー！

【40】

サイトウ、いつのまにかメグの後ろにいた。

サイトウ だから、ばかみたいな声、出さないでよ、メグ お前こそ、なんで、毎回、耳元でささやくの？ サイトウ 別にささやいてないし、ココ 先輩、やばいんですよ！メグ 宿題いいのかよ、ココ 人類のタブーに触れてしまいました、サイトウ あっそ、ココ え、サイトウ ていうか、いいの、こっちいてナナホ え、サイトウ 見送り、しなくていいの、ナナホ あ、いいんです、どうせ近づけないし、サイトウ ふーん、ナナホ ここからの方がよく見えますし、アカネ そうだよー、見送りに行ってもきまずいんだよね、メグ あれさ、あの乗ってから、飛ぶまでの時間差なんなの？アカネ なかなか、飛ばないんだよね、メグ 全然、飛ばねーの、アカネ 首が疲れちゃうよね、メグ で、飛ぶ寸前には、離れてくださいって、めっちゃ遠く行くからね、空港行った意味ないし、ヒカリ へー

アカネ あ、そうだね、ヒカリちゃんは、知らないよね、メグ 熱風くるからねヒカリ はい、アカネ なんか、あの熱風がさ、さびしんだよね、メグ うん、ナナホ だから、こっちで、見送ろうって思ったんです、アカネ うん、それがいいよ、

【41】

マナがやってくる。

マナ やばいです！ やばい！ やばい！ やばい！ やばい！アカネ なんだよ、もー、マナ みなさん、先輩、みんな、聞いてください！メグ 今度は、なんだよ、マナ シヤイン先輩がメグ また、シヤインかよ！マナ 聞いてください！ シヤイン先輩が、カノンに、殴られました一同 ええええええ！メグ なにそんなにそんなにそれ、アカネ どういうこと、どういうこと、マナ いや、あたしもよくわかんないですけど、いつものとおり体育館裏をのぞいたら、メグ なんてだよ、マナ カノンが、シヤイン先輩の、顔を、ぱあんって！アカネ えー、なんでなんでメグ セクハラじゃねーの、ココ ありえる！

【42】

カノン、やってくる。

カノン すいません！ 遅くなりました！

一同 わ、

カノン え、

アカネ あ、ううん、だいじょうぶ、全然、だいじょうぶ、

カノン え、みなさん、どうかしたんですか、

メグ ううん、なんにも、

カノン そうですか、なんか、変ですよ、ねえ、マナ、

マナ ー、そんなことないとおもうよー、

カノン マナが一番、変だし、

アカネ はいはい！ じゃあ、準備しよう！ 練習！ 練習！

カノン はい

サイトウ えっと、なにやる？ なにやる？

アカネ あ、最初は、ヒカリちゃん、ダンスの復習したいよね、

ヒカリ あ、はい、

アカネ だから、最初はみんなで踊ろっか、

メグ おっけー、

マナ・カノン・ココ はい

アカネ じゃあ、準備して！ えっと、ヒカリちゃんの横は、

ナナホ あ、あたし、行きます、

アカネ ありがとう、じゃあ、ヒカリちゃん、ナナホに教わって、

ヒカリ はい、よろしくお願いします、

ナナホ こちらこそ、

【43】

シャイン、頬をおさえながらやってくる。

一同 あ、

シャイン ……

アカネ あ、だいじょうぶ？

シャイン え、

アカネ あ、ううん、なんでもない、ほら、遅いよー、はい、こっち来て！
シャイン うん、

一同、手をつないで丸くなる。

アカネはカセットデッキの再生ボタンを押して戻ってくる。

アカネ はい！ 再生ボタン押したよ！ 踊るよ！

マナ はい！

一同 ……

しかし、何の音も流れない。

アカネ ……あれ？

一同 いやいやいやいやいや、

メグ え、なに、どうしたの、

アカネ いや、

マナ 故障ですか、

アカネ いや、そんなことないと思うんだけど、

ココ うちら今めっちゃまぬけでしたよね、

マナ UFO、呼んでるみたいだったよね、

アカネ あれ、テープがない！

カノン え、

アカネ え、ねえ、誰か、このデッキに入ってた、テープ知らない？

ココ え、前に録音したやつですか、

アカネ そうそう、

カノン ずっと、そこにありませんでした？

アカネ いや、ずっと入れてたはずなんだけど、あれー、

メグ え、あれないと、踊れないじゃん、

アカネ えー、どこいっちゃったんだよー、

ナナホ あ、

アカネ え、

「わたしの星」

ナナホ あたし、ダビングしたの、持ってます、アカネ あー、じゃあ、とりあえず、それ貸して、ナナホ はい、アカネ よし、

シャイン あ、煙でてるよ、

カノン もうすぐ、飛ぶんじゃないですか？

メグ いや、あそこからが長いんだよ、

マナ どうせだったら屋上で踊りませんか？

メグ いや、お前、マジで死ぬるよ、

マナ えー、夕方だから、だいじょうぶですよ、

メグ むりむり

アカネ はいはい、

アカネ、再生ボタンを押して戻ってくる。

一同、手をつないで丸くなる。

アカネ じゃあ、踊りながら、見送ろうか、

ナナホ はい、

冒頭のやりとりが再生される。

みんな、ちやちやを入れたり、笑ったりしながら聞いて待つ。

メグ 全然、はじまらねーじゃん、

アカネ あんたらのせいだよ、

やがてスピカの声が聴こえる。

スピカの声 すいません！ 遅くなりましたー

アカネの声 スピカ！

メグの声 おせーよ！

スピカの声 すいませーん！

アカネの声 いま、録音、するから、もうこっち来て！

スピカの声 はい、

メグの声 もうスピカ、ナシでやるところだったよ、

スピカの声 えー、ひどい、

メグの声 ひどくねーよ、

アカネの声 まあ、音だけ録音するだけだから、スピカあんま仕事ないけど、

スピカの声 はーい、ナナホ、おはよ、

ナナホの声 スピカ、

スピカの声 ごめん、はい、お願いします、

アカネの声 はい、じゃあ、行くよ！

一同、ダンスを踊りだす。

笑ったり、ふざけあったりしながら踊る。

ロケットの飛ぶ音が遠くから近づいてくる。

轟音。

ゆっくり空が暗くなってく。

暗転。

「わたしの星」おしまい。

本作品の著作権は、作者代表である柴幸男に帰属します。
上演許可などのお問い合わせは、作者の所属する劇団「ままごと」まで。
上演する際は有料、無料公演に関わらず、必ずご連絡ください。

ままごと HP www.mamagoto.org

MAIL mamagoto.org@gmail.com